

第1回スヌーズレン資格認定セミナーの感想および担当講師(姉崎 弘)からのメッセージ

2026 年 6 月 29 日

【 受講者 A 】

- ・実際に体験できて、いくつかの場面を比較できたのが良かったと感じました。
- ・数々の事例を知ることができ、基本的なスヌーズレンの情報を得ることができました。
- ・実践を増やしていき、一緒にやっていける仲間も増えたらいいなと思います。
- ・感覚過敏や交感神経の高ぶった状態の軽減をしていきたいと思います。
- ・今後、簡単な器材を自作してみたり、実際に手や身体を動かしてみても面白いかと感じました。

【 受講者 B 】

- ・大変良かったです。
- ・スヌーズレンの始まりや「教育」としてのスヌーズレンについて学ぶことができて良かったです。
- ・実践的活動や座学だけではない学びも得られました。
- ・目的としていた内容はたくさん得られました。特に、実践例の動画や姉崎先生の論文からイメージすることができました。
- ・小学校現場に出た際、多様な子どもたちの実態に適応できる教師になりたいと、目標をもっております。
- ・たくさん準備して下さい、本当にありがとうございました。

【 担当した講師から 】

- ・今回ご家族のご病気のため急遽参加できなくなった方がおられましたが、またご都合がございましたらぜひ資格セミナーに参加して力量を付けて下さることを祈っております。
- ・今回は初めての資格認定セミナーの開催でしたが、スヌーズレンの世界的な歴史の流れやマーテンス博士による「指導法・実践法の三角形」、脳科学からの理解、学校や施設・病院での実践例のビデオ紹介といった内容以外にも、講

師からの一方的なレクチャーは止めて、参加者各自の実体験の場にしたり、リラックス度を計器で測定して自分の目で確かめることで人に説明できるようになったり、演習形式で、事前の実践レポート(写真付き)をパワーポイントで発表してもらったりなど、アクティブな内容も盛り込み充実した内容になりました。スヌーズレンを歴史や理論、実践、体験、演習といった多角的な視点から学んでいただいたことで、身に着いたことも多かったのでは、と考えます。

・当協会のこうした取組みについては、世界の ISNA-MSE の新役員のスヴェンヤ・フールマン氏 (Svenja Fuhrmann) から姉崎あてに「セミナー、資格認定プログラム、機関誌の出版活動、そして ISNA 日本スヌーズレン-MSE 研究・資格認定協会の設立などを通じて、スヌーズレン・MSE の普及に尽力されているお姿には大変感銘を受けております。スヌーズレンの国際的な発展に貢献しようとするあなたのお気持ちに、心より感謝を申し上げます。」との温かい激励の英文メールをいただいております。

このように有難いことに、世界のスヌーズレンの有識者も、当協会の活動に注目しており応援してくれていることをご報告いたします。特に、スヌーズレンの機関誌論文の発行は、世界でもこれまで当協会のみが継続的に行ってきた貴重な世界的貢献であると自負しております。

資格を取得した 2 名と講師の姉崎



(文責: 姉崎 弘)